

一般質問発言通告書

発言順位 12番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年9月8日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 2番 甲斐 幸博 (印)

質問事項1	市民意識調査の結果について
具体的内容	
調査は5月13日～31日に無作為で抽出し、18歳以上の男女2千人を対象に、郵送、インターネットで実施し、有効回答率は過去最高の63.9%との結果でした。	
調査の結果では、三島を「住みやすい」と答えた市民は91.7%、幸福感の平均点は6.94(10点満点)国の平均は6.38で、調査の結果がこれまでの最高値になり、「歩道の整備」「三島駅周辺の整備」は前年よりも、不満率は軽減されています。	
これまで、豊岡市長が行ってきた、自然を生かした街づくりなどが、市民の皆様に評価された結果だと考えます。	
今後、さらに住みやすい街にしていくため、どのような対策を行うのか伺います。	
1、市民意識調査の結果をうけ、これまでの取り組みの評価はどう考えているのか	
2、駅前整備に対する不満率は軽減されているが、今後のさらなる取り組みを考えているか	
3、自治会・町内会活動への参加率が減少しているが、今後の取り組みを考えているか	
4、コロナ感染予防のため、外出を自粛することで心配なことの結果を受けて、今後の取り組みを考えているか	
5、市民意識調査の結果、どのように次期総合計画に反映させ街づくりを進めていくのか	
質問事項2	高齢者実態調査の結果について
具体的内容	
三島市では、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を3年に1度策定していて、その前年度に「高齢者実態調査」を実施しています。	
高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう行う調査です。	
高齢者のみの世帯や、一人暮らしの高齢者の世帯は、年々増加していて、この調査はとても重要な調査となります。	
高齢者実態調査の結果について伺います。	
1、昨年度実施の高齢者実態調査の特徴や課題をどうとらえるか	
2、高齢者福祉行政の基礎調査での高齢者世帯の推移はどうなっているのか	
3、家族支援が得られない高齢者への対応はどうか	
4、認知症の徘徊高齢者に対してどのような対策を行っているのか	
5、実態調査の結果、どのように高齢者保健福祉・介護保険事業計画や次期総合計画に反映させ、街づくりを進めていくのか	